

柏地域医療連携センター 今後の相談体制について

地域医療推進課

【柏地域医療連携センターの相談の機能】

- ①医療や介護に関する相談・啓発
- ②在宅医療が必要な方への調整支援

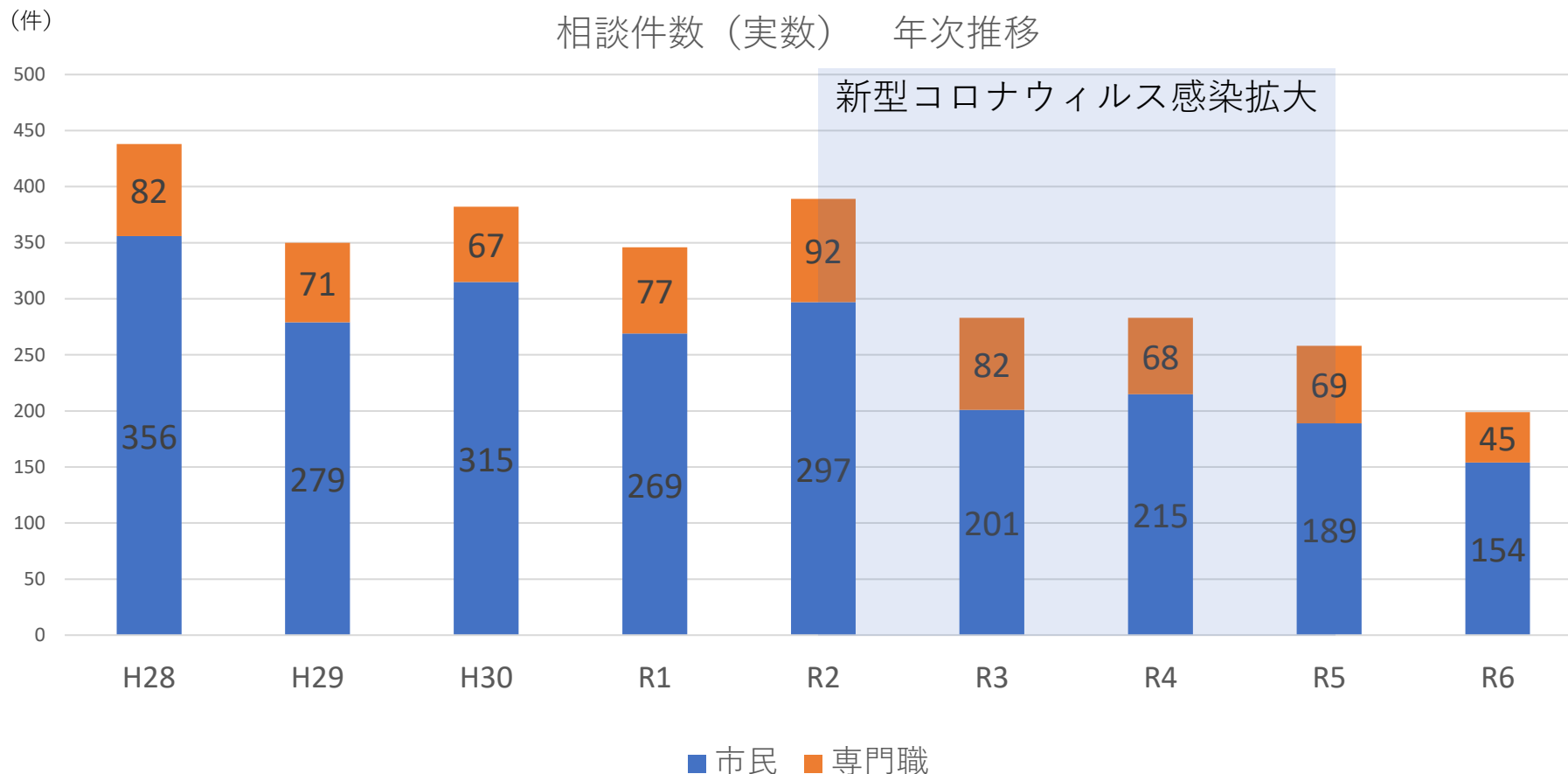
【在宅医療・介護推進事業における相談支援の目的】

地域の医療・介護関係者や地域包括支援センターから、在宅医療・介護連携に関する相談等を受け付け、連絡調整、情報提供等により、その対応を支援すること

※在宅医療・介護連携推進事業の手引き Ver. 4 より抜粋

柏地域医療連携センター相談件数の推移

●相談件数の推移



当センターへの相談件数は減少傾向にあるため、市内の在宅医療介護等の相談を受けている他機関の相談の現状を把握・調査分析し、今後の相談体制の在り方を検討した

市内の相談窓口

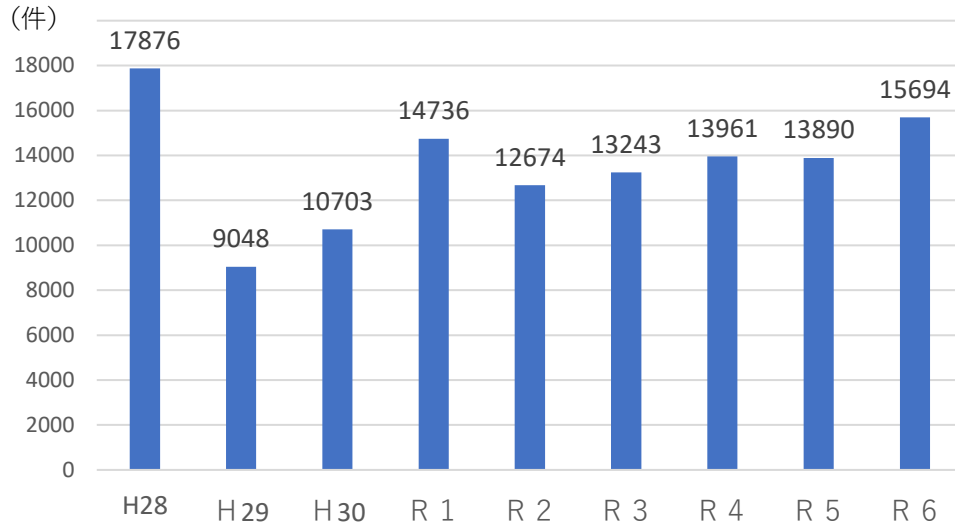
●市内の在宅医療介護等の相談を受けている主な窓口

- 柏地域医療連携センター (地域医療推進課)
- 地域包括支援センター(市内 1 3 か所) (地域包括支援課)
- 福祉の総合相談 (あいネット) (福祉政策課)
- 医療安全相談 (保健所総務企画課)
- 地域いきいきセンター (市内 1 2 か所) (社会福祉協議会)

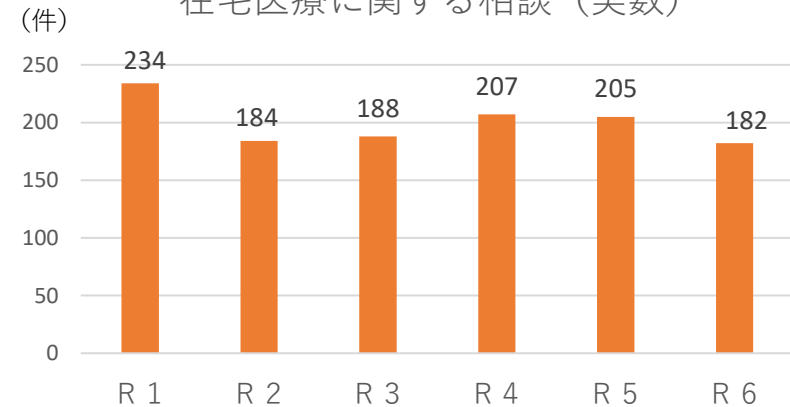
①地域包括支援センター相談（地域包括支援課）

●相談件数の推移

地域包括支援センター相談総数（実数）



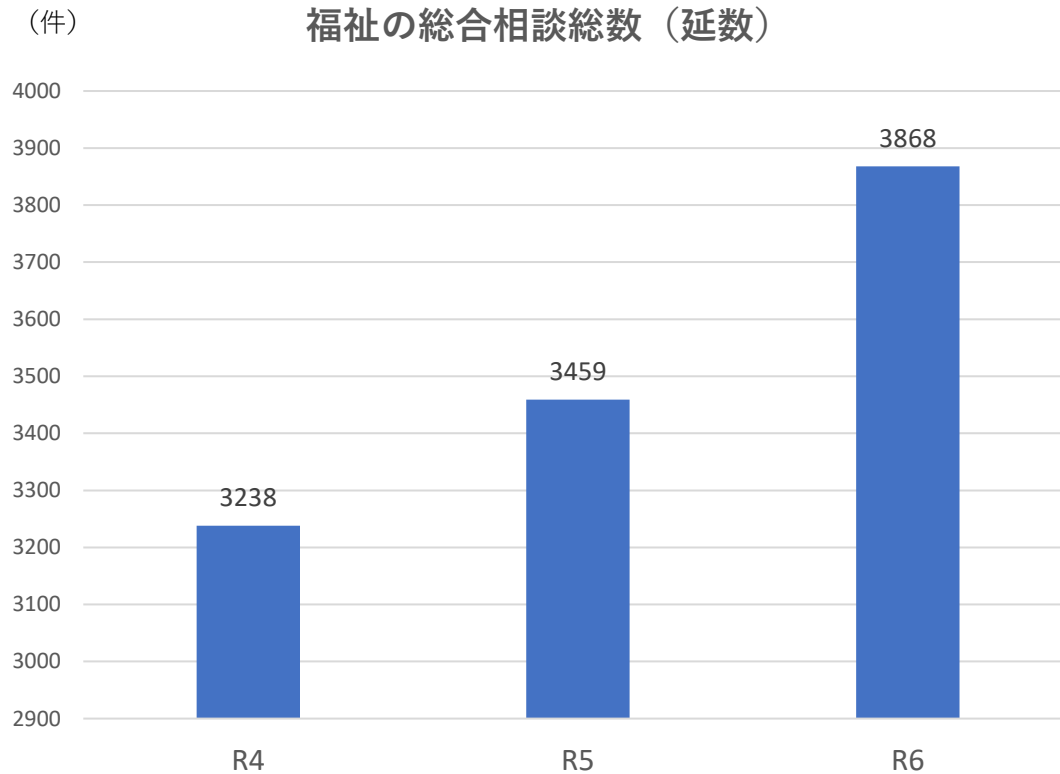
在宅医療に関する相談（実数）



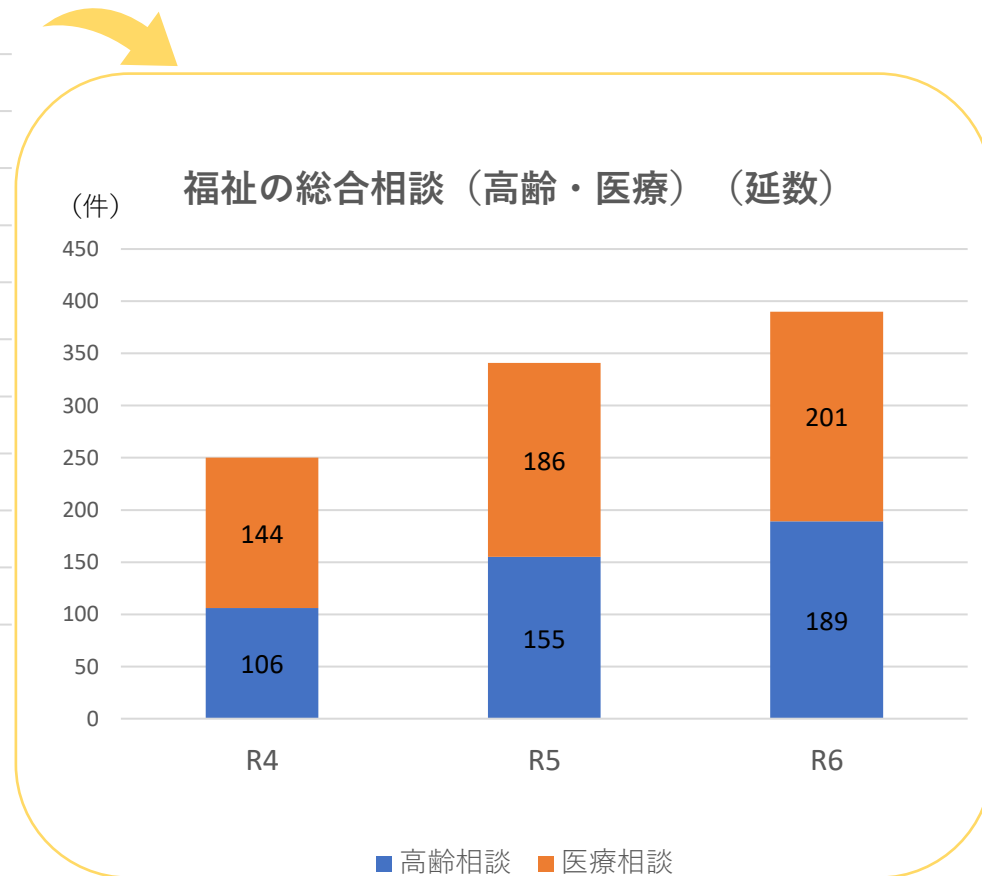
高齢者のための地域の相談窓口。
相談総数は年々増加，そのうち在宅医療に関する相談は横ばいで推移

②福祉の総合相談（あいネット・福祉政策課）

●相談件数の推移



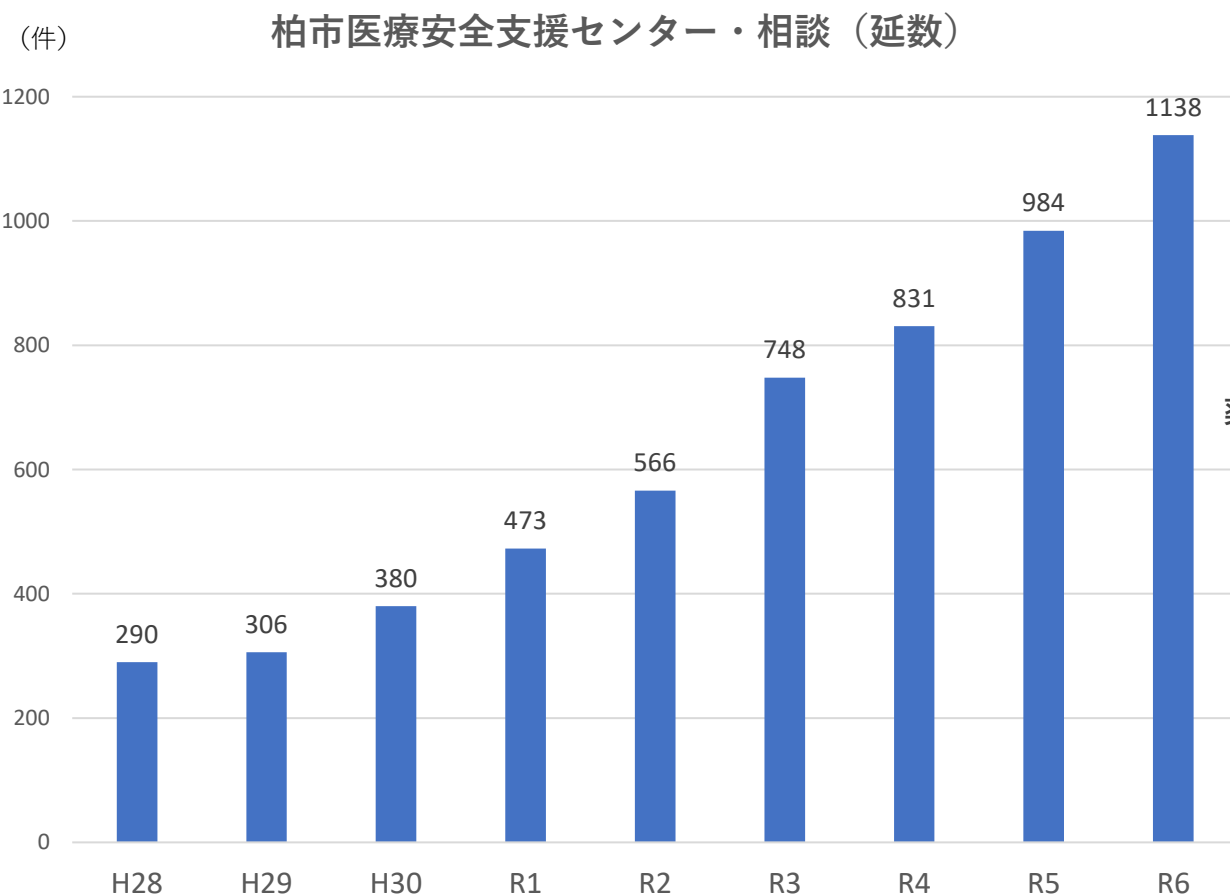
※R3までは、生活支援課の事業であったため生活困窮支援の事業と一緒に数えられていた。総数の比較ができないため、R4からのデータとなっている。
R4からは、福祉政策課が担当課となっている。



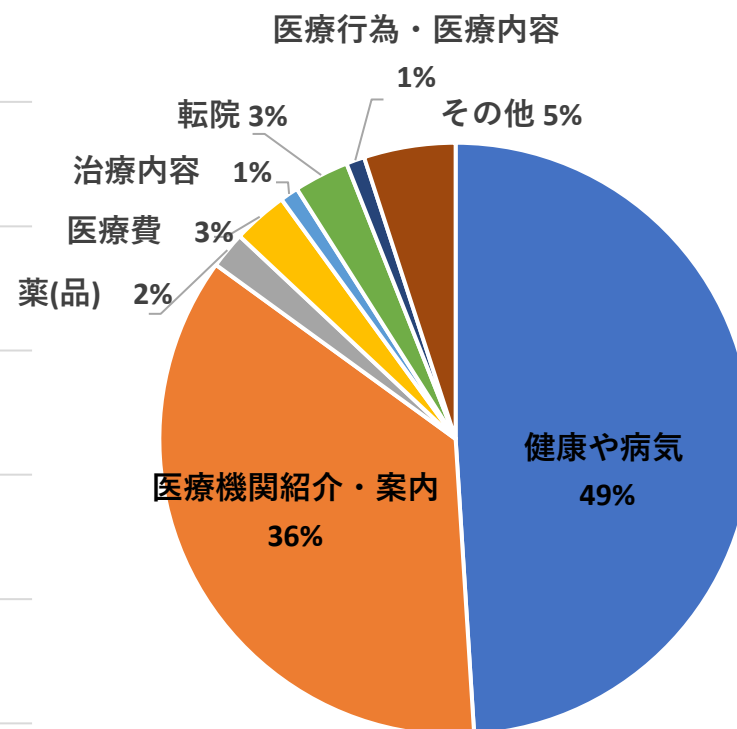
柏市重層的支援体制整備事業として福祉にかかる様々な悩みごとの受け止めと課題解決に向けた支援体制づくりの拠点。
相談総数，うち高齢・医療に関する相談も増加傾向にある。

③医療安全相談（保健所総務企画課）

●相談件数の推移



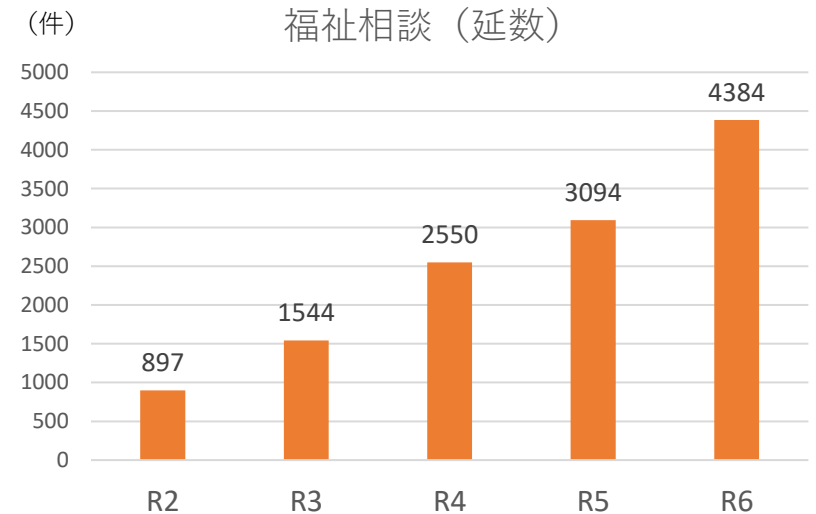
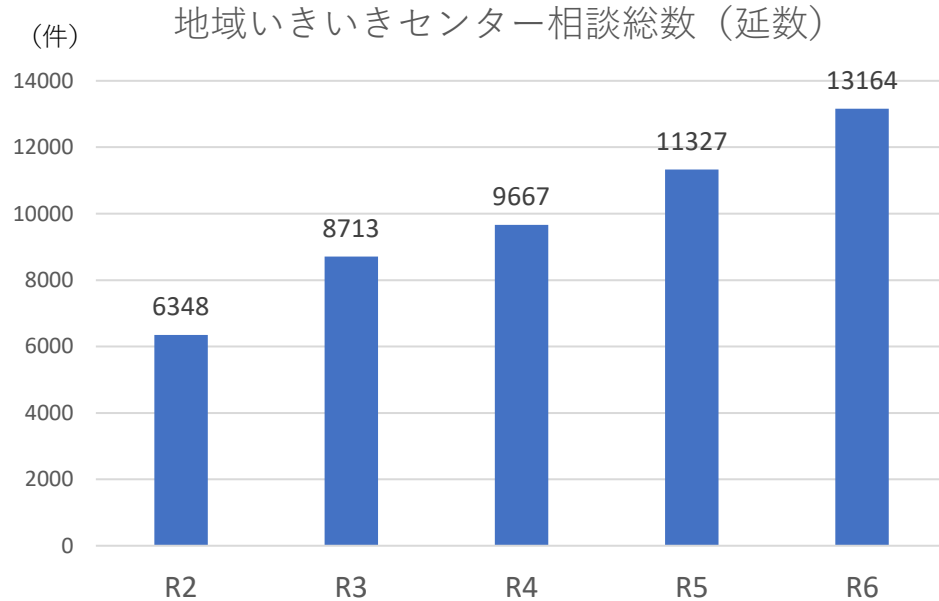
R6相談内訳



市内医療機関に対する苦情や相談等を受けている。
相談総数は年々増加。令和6年度の相談内訳では、健康や病気、
医療機関の紹介・案内が全体の8割を占めている。

④地域いきいきセンター相談（社会福祉協議会）

●相談件数の推移



市民にとって身近な福祉の相談窓口であり，相談件数も多くなっている。

考察からみえてきた課題と対応

【考察】

- 地域包括支援センターや地域いきいきセンターなど地域に根ざした身近な相談機関が増え、市民に認知され、相談件数も増加していると考えられる。
- 相談窓口同士の横のつながりが十分ではない可能性がある。
- 各窓口が「柏地域医療連携センターがどんな相談を受けている」かを認知していない可能性がある。



【課題】

在宅医療介護等の相談を受けている窓口は多くあるが、お互いに情報共有ができていない。

〈必要な対応〉

- 各窓口との顔の見える関係づくり
- 各相談窓口で柏地域医療連携センターで受けている相談や在宅医療について知ってもらう

【地域医療連携センターの相談機能について】

これまでの機能は継続していく

- ①医療や介護に関する相談・啓発
- ②在宅医療が必要なかたへの調整支援

【新たな取り組み】

地域医療連携センターの相談機能，在宅医療の啓発を啓発広報部会と連動して行っていく

- ①市民への啓発
 - ・他課で行っている企画イベントに参加
 - ・かしわ健康アプリ「ワニFit」内に記事を掲載
- ②庁内及び在宅医療の相談を受けている関係窓口への啓発
 - ・職員向けの出前講座の実施
 - ・庁内の掲示板に在宅医療に関する記事の掲載

【参考】 相談窓口の調査結果を関係各課に共有済み